

平成 29 年度 第 1 回 SPring-8 ユーザー協同体評議員会 議事録

日時：平成 29 年 4 月 14 日（金）13 時 30 分-15 時 00 分

場所：SPring-8 中央管理棟 上坪講堂（兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1）

出席者：中川敦史(会長)、朝倉清高（テレビ会議）、足立伸一、和泉篤士、尾嶋正治（テレビ会議）、瀬戸秀紀（テレビ会議）、堂前和彦、宮崎司、片山芳則、久米卓志（テレビ会議）、原田慈久、藤原明比古

幹事/ 高尾正敏（副会長）、杉本宏、若林裕助、加藤健一、西堀麻衣子、木村昭夫、田中義人

オブザーバー/ 大端 通、木下豊彦、星野聡、石田浩康

事務局/ 坂川琢磨

1. 会長挨拶

中川会長より挨拶があった。

2. 平成 29 年度評議員等紹介（杉本幹事）

当該年度の評議員の紹介があり、委任状を合わせて定足数が満たされていることが確認された。また、各幹事の紹介があった。

3. 平成 28 年度第 3 回議事録案の確認(杉本幹事)

平成 29 年 1 月 8 日に神戸芸術センターで行われた平成 28 年度第 3 回評議員会の議事録案が示され、承認された。

報告事項

4. 平成 28 年度 SPRUC 活動報告

活動報告に先立ち、杉本幹事より SPRUC の組織図が示され、評議員、会長、幹事、企画委員会、利用委員会、代表機関会議の関係およびその役割について説明があった。

4.1 平成 28 年度 SPRUC 研究会活動状況(動向調査報告書を含む)（若林幹事）

SPRUC 研究会の数は 30、延べ登録数は 11300 で、研究会への参加率は 46 %になり、昨年度よりやや増えたことが報告された。これらの状況をまとめた動向調査報告書が作成された。また、中川会長より、JASRI 理事長および理事に、動向調査報告書を提出し、意見交換をする場を近々設けてもらう予定であることが補足された。

4.2 平成 28 年度 SPRUC 分野融合型研究活動報告

杉本幹事より、分野融合型研究グループの目標について確認・説明があった。これまでに4つの分野、すなわち、ナノデバイス科学、原子分子生命科学、分子機能性材料、実用が企画されたが、「分子機能性材料」に関しては、今後顧問会議等を開いて方針を決めていく必要性について言及された。「原子分子生命科学」について、城宜嗣代表らによって提案されたコンセプト案が紹介された。続いて原田委員により、「ナノデバイス科学」について、第4回研究会等でこれまでの総括が行われたこと、および次期申請に向けたコンセプト等について報告された。「実用」の活動については高尾幹事より経緯を含めた報告があり、**SPring-8 シンポジウム 2017** で経過報告する予定であること、および、次のステージに向けて分野融合のしくみ全体についても議論を進めたい旨示された。

これらについて、具体的になにをもって分野融合したと評価できるか等の質疑(評議員)があり、原田委員より、ナノデバイス科学の第4回研究会でこれまでの活動の評価方法で議論された評価観点について説明があった。また、中川会長より、これらの4つの分野融合型研究グループ設立の経緯からも、顧問会議を早急に開いて総括し、次の段階に進むという考えが示された。

4.3 SPRUC ビームライン高性能化検討作業部会報告(藤原委員)

SPRUC ビームライン高性能化検討作業部会の立ち上げの経緯や設置目的の説明があった。研究会に対して行ったアンケート調査結果について今後作業部会で吟味し、より中長期についての再調査を行う予定との報告があった。また、中川会長より、作業部会の報告、施設との議論の場を設けるべく、**SPring-8 シンポジウム**にてパネルディスカッションを行うこと、さらに、そのパネルディスカッションに向けた事前打ち合わせ、会合を **JASRI**、理研、**SPRUC** 三者で行う予定であることが報告された。

4.4 SPRUC 平成 28 年度決算(加藤幹事)

平成 28 年度 **SPring-8** ユーザー協同体の予算・決算報告および **SPring-8 シンポジウム 2016** の予算と実績報告が示された。

審議事項

5. SPring-8 シンポジウム 2017 について(木村幹事)

SPring-8 シンポジウム 2017 は、9月3日および4日に、広島大学・東千田未来創生センターにて行われる予定であることが示された。続いて開催趣旨とタイトル案「高性能化で目指す **SPring-8** の将来」の説明があり、プログラムについての草案が示された。特に、パネルディスカッションを1日目夕方に設定したこと、2日目朝に **SPRUC** 総会と **YSA** 受賞講演、授賞式を行うこと、終了を 16:00 ごろに設定する予定等が示された。また、実行委員会およびその体制の説明があった。

なお、プログラムでの分野融合型研究報告の時間を短めに設定できるかの議論があったが、評議員より、むしろ各成果報告ではなくて、この2年間の分野融合型研究への取り組みの状況を報告できる十分な時間が必要ではないかと意見があり、今後のシンポのプログラム委員会等で具体的な議論をすることとした。

続いて、SPRUC 2017 Young Scientist Award (6回目)についての趣旨と経過報告、今後の日程についての説明および、シンポジウム予算案について説明がなされた。昨年度からの変更点として、推薦理由書の記載事項として、被推薦者自己アピールを書く欄が追加されたとのこと報告があった。なお、中川会長より評議員に対し、推薦を促して欲しい旨依頼があった。

幹事より、募集要項に過去の受賞者およびその分野情報を実績として示した方がよいとの意見があった。また木下 JASRI 利用推進部長より、SPring-8/SACLA 利用情報誌に過去の受賞者紹介特集が組んであるとコメントがあり、それらを HP 上の募集要項に反映することとした。

6. 平成 29 年度 SPRUC 活動計画と予算案について。

6.1 活動計画について(杉本幹事)

資料に従い今後のスケジュールの説明があった。第 3 回評議員会にて次期会長選出が行われることが補足された。今後の新たな活動として、JASRI、理研、SPRUC の三者で会合を行っていくこと、および、各研究会の活動助成について、利用委員会より提案されている旅費支給の方針についての確認があった。

6.2 平成 29 年度予算案(加藤幹事)

平成 29 年度の予算案が示され、承認された。

7. その他

SPRUC 会員の各研究会への登録促進のために、新規ユーザー登録画面での工夫の要請があったことを受け、理由を入力することを前提に「登録しない」という項目を設定することを検討し、JASRI に依頼したとの報告があり、JASRI 木下部長より、年内には開始できる見込みとの回答があった。

配付資料：

資料 1: 平成 29 年度 評議員名簿他各種名簿

資料 2: 平成 28 年度第 3 回評議員会 議事録(案)

資料 3: 平成 28 年度 SPRUC 研究会活動状況

資料 4: 2016 年度動向調査報告書

資料 5: 平成 28 年度 SPRUC 分野融合型研究活動報告

- 資料 6: SPRUC ビームライン高性能化検討作業部会
- 資料 7: SPRUC 平成 28 年度決算
- 資料 8: SPring-8 シンポジウム 2017 の開催について
- 資料 9: SPRUC 2017 Young Scientist Award の実施について
- 資料 10: 今後のスケジュール
- 資料 11: 平成 29 年度予算案

以上